

三原市久井歴史民俗資料館

vol.2

# モーモー通信



## モーモーがやってきた！ IN 資料館

資料館に牛の模型の「たかね号」が来てくれました。牛がとてもリアルに再現されていて、今にも「モーモー」と鳴いて動き出しそう。迫力満点です！

手入れや鞍など飾りつけを終え、今後、牛市の展示室でお出迎えしてくれるようになりました。



毛は棕櫚<sup>しゅうろ</sup>で作られています。  
しっぽもひづめも、本物みたい！



たかね号

こちらの牛の模型は、地元の方ならご存知ではないでしょうか。名前を「たかね号」といい、年齢は21歳(平成11年に制作)です。以前行われていた、「久井ウッシシ祭り」での久井牛市の再現イベントで登場していました。お祭りでは、各地区からそれぞれ牛の模型を制作し行進しました。たかね号は下津地区のもので、名前は下津の<sup>たかねやま</sup>高根山にちなんでいます。

どの地区の牛の模型も見事で、それぞれ個性とこだわりがあり、獣医さんが監修して制作した地区もあったといわれています。



平成11(1999)年 第1回ウッシシ祭り開催

昔は一緒に農業を担<sup>にな</sup>う牛は「農宝<sup>のうほう</sup>」ともいわれ、米俵10個分(600kg)ほどの価値がありました。牛は頼もしいパートナーであり、ときには家族のような大切な存在だったのでしょう。戦前まで久井では、牛に乗った花嫁行列を行っていました。牛への愛や誇りを感じるウッシシ祭り。平成24(2012)年には「ふれあい祭り」と一緒になって「久井！さわやか高原祭り」と改名されています。

たかね号と、ちょっと昔の農家にタイムスリップした気分で、展示をご覧ください。

行列

つえ  
杖使い

↓ ↑ 平成 26(2014)年撮影



ししまい  
獅子舞

かさ  
笠踊り

「あんない」  
𠄎

